

神田伊織・桃月庵黒酒 二人会

1. 日 時：2024年2月10日（土）11時開演
2. 会 場：なかの芸能小劇場
3. 演 目：（神田伊織）「番長魚屋本多」、中入り後「伊達家の鬼夫婦」
4. 二人のマエセツから

今回の「二人会」開催に当たっては、なかの芸能小劇場としての企画、組み合わせで、これまで二人の接点はなく、お互いに99.9%知らないと言っていた。ここで両者の性格の違いがはっきりと表れたのは、神田伊織が前日の夜、黒酒のウェブサイトを2時間以上かけて調べ上げ、黒酒のストイックなまでの芸（作品）に対する姿勢や、お伊勢参りを徒歩で成し遂げたことなどに感嘆した話をする一方、黒酒の方は、そういった事前情報をまったく無視して、もっぱら伊織の話を聞くだけであった。

5. 神田伊織の演目とその内容について

1) 『番長魚屋本多』

この演目は、2023年11月の第7回「神田伊織の会」の第三席目として『魚屋本多、「水呑み」に由来する出生の秘話』として聴いており、その内容は「神田伊織の会通信 No.7」に記録しているので割愛する。

2) 『伊達家の鬼夫婦』

この演目も2022年12月の阿佐ヶ谷伊織会の第4回講演で、武芸物『寛永の御前試合』の一部、『仙台の鬼夫婦、伊井直人』として一度聴いていて、その内容は「神田伊織の会通信、No.4」に記録しているので割愛するが、その時の記録と照合して見て微妙に異なるところがあるような気がする。